

研究課題番号	3RF-1903
研究課題名	難分解性化合物の高度分解処理が可能な再生型不均一系フェントン触媒システムの開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	関西大学
研究代表者名	福 康二郎

1. 委員の指摘及び提言概要

研究目標は十分達成されており、さらに新たな課題にも挑戦しており、光自己再生 LDH 触媒の開発は評価できる。フェントン触媒処理システムに関する触媒メカニズムとその機能高度化に関する基礎研究で成果を上げており、フェントン法という古くからある技術に対し、さまざまな利点をもつ本技術は革新的である。将来の社会実装に向けて、現時点での利用可能性を把握し、具体的なターゲットを注視しながら社会実装に向けて研究を進めてほしい。浸出水処理を将来の目的とするならば、個々の難分解性物質への対応とともに、有機物や塩類の共存下での研究や、触媒の寿命や触媒の供給方法も課題である。今後、難分解有機汚染物質を対象とした社会実装の排水処理の課題対応（スケール、排水組成、適用先の副反応等）を期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A